



特集 第26回 敬老標語入賞作品 P.2

- P.3 ことしの敬老標語・講評
第43回 感謝のハガキ送付事業
- P.4-5 赤い羽根共同募金
- P.6 車椅子点検ボランティア
災害ボランティアセンター
新規法人会員のご紹介
- P.7 福祉講演会のごあんない
- P.8 ふれあいフォトコンテスト作品募集
インフォメーション



発行 社会福祉法人余市町社会福祉協議会

〒046-0011 北海道余市郡余市町入舟町400番地

☎ (0135) 22-3156 ☎ (0135) 23-3664

<http://www.yoichi-shakyo.or.jp/>



この広報誌は、共同募金配分金・社協会費・広告料の一部を活用しています。



第26回 敬老標語入賞作品決定!!

特集

毎年9月の「敬老の日」にちなみ、多年にわたり社会に尽してきたお年寄りへの感謝の気持ちから実施してまいりました敬老標語の募集も今年度で26回を迎えました。今回も、各小・中学校より多数の応募があり、審査の結果入選作品がつぎのとおり決定いたしました。
(8月21日審査)



余市町長賞（最優秀賞）

おばあちゃん しわの数は ちえの数
母語る 多くの知恵は 祖母の知恵
沢町小学校6年 寺井 優花
旭中学校3年 鰐 渕 颯

余市町教育長賞（優秀賞）

につこりと ずっとえ顔で 長生きで
「照れくさい」 そう言いながら 手をつなぐ
大川小学校3年 生田目 凜
東中学校3年 田村 花音

余市町校長会会長賞（優秀賞）

おじいちゃん つぎはわたしが がんばるよ
つらいとき 祖母の笑顔は 癒される
黒川小学校6年 三 間 夕里亜
旭中学校1年 白 田 純 恋

余市町老人クラブ連合会会長賞（優秀賞）

おじいちゃん ふみまちがいには ごようじん
ばあちゃんの そのあたたかさ いただきます
黒川小学校3年 加 藤 奏 風
東中学校3年 北 島 朝 陽

余市町地域子ども会育成連絡協議会会長賞（優秀賞）

ふと見ると いつも笑顔な おばあちゃん
ばあちゃんの 漬ける漬け物 日本一
黒川小学校6年 花 田 美 結
東中学校1年 櫻 井 優 也

余市町民生委員協議会会長賞（優秀賞）

あいたいな なかなかあえない おじいちゃん
伝えたいこと いつもは言えない ありがとう
登小学校2年 伊 藤 在 流
東中学校2年 菊 池 藍 花

北海道新聞社余市支局長賞（優秀賞）

ものしりで いつもやさしい おばあちゃん
いらっしやい 元気をくれる 祖母の顔
黒川小学校4年 藤 川 永 遠
西中学校1年 佐 藤 小 湖

余市町社会福祉協議会会長賞（優秀賞）

あたたかな 笑顔が似合う おばあちゃん
祖父母には 生きて来た分 笑いじわ
黒川小学校5年 作 田 雫 月
東中学校1年 佐々木 友 愛

年中無休 24時間営業



もしものとき安心と信頼の全国ネット
if共済会取扱加盟店

●経済産業大臣認可 全国葬祭業協同組合連合会
●国土交通大臣認可 全国霊柩自動車協会 加盟店

厚生労働省認定葬祭ディレクター
技能審査1級葬祭ディレクター が対応します。

ー葬儀全般お手伝い承りますー（受付・司会・会計）

(有) 余市葬祭社

中道造花店

☎22-3254 余市町黒川町12-83-4(本社)
FAX 23-4241

各宗派御葬儀式場

冷暖房完備・駐車場完備

最大収容人数500名

すずらんホール

余市町黒川町13-10-1 ☎21-4499

最大収容人数150名

さくらホール大川

余市町大川町3-79 ☎48-9494

第26回 敬老標語審査委員長・講評

祖父母への畏敬の念があられた標語



余市町校長会会長
新井融氏
(黒川小学校)

敬老標語を審査するにあたり、改めて「敬老の日」とは何かを調べてみました。「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日。」とありました。そして、初めは「老人の日」としていたそうですが、その後数年で「敬老の日」となりました。

「老人」の語感の問題もあって「敬老」となったそうです。世界中にもこのような日があるとのこと。時々黒川小学校の職員室前の廊下に飾られている歴代の校長先生方の写真を見たり、自分の思い出の中の校長先生方を思い出すと、自分や周りの同じ年齢層に比べても、お年が召していたように感じられます。

私にも孫ができ、現在2歳の孫にたまに会うと「じじ」と大きな声で体をゆすって叫びますので実年齢と外観年齢には全く関係がありません。(ちなみに妻はなぜか「かあさん」、実の母は「ママ」と呼ばれています。)不思議なもので、彼らに会った後は間違いなく疲労感いっぱいになるのですが、反比例して心の中には満足感が充足されています。敬老標語は、このような意味合いから子供にとりましても人生の先輩である年配者にとりましても生きる糧になる取り組みの一つと考えています。

今回の敬老標語では、小学校34作品、中学校13作品の応募がありました。敬老標語に取り組んでくれた児童生徒の皆さんに感謝するとともに、指導に当たっていただいた先生、保護者の方々にも感謝申し上げます。

応募作品のすべてに祖父母への感謝と尊敬、思いや願いを届けてくれるものでした。短い言葉の中にそれらを詰め切ることにはかなり難しかったことでしょう。短い文章の中にそれらが十分詰まっていた。その中でも、入選した作品は、祖父母の知恵のすごさや祖父母への思いが短い文章の中に十二分に伝わるものでした。

核家族が加速化されるとともに高齢化が進む現代社会は、ここ余市町においても例外ではありません。今後ともこのような機会を増やし世代間交流を通して心豊かで誰もが笑顔あふれ、お互い尊重できる余市町になることを祈って、講評に代えさせていただきます。

最優秀賞 (余市町長賞)



小学校の部
沢町小学校6年 寺井優花さんと
轟木校長、お母さん

おばあちゃん
しわの数は
ちえの数



中学校の部
旭中学校3年 鰐渕 颯さんと
お母さん

母語る
多くの知恵は
祖母の知恵

第43回 敬老の日・感謝のハガキ送付事業

77歳以上の高齢者3,297名(2,730世帯)の方へ、
長寿をお祝いする感謝のハガキが届けられました。

今年も「敬老の日「感謝のハガキ」を送る事業」が町内の小中学校7校の児童・生徒の協力を得て実施されました。毎年9月の「敬老の日」にちなみ、余市町地域子ども会育成連絡協議会が各学校へ依頼し取り組んでいます。

【主催】余市町地域子ども会育成連絡協議会
事務局：余市町青少年対策室(中央公民館内)
【共催】余市町社会福祉協議会

※この事業は、皆様から集められた赤い羽根共同募金からの助成を受けて実施しています。



運動期間
10月1日
▼
12月末日

赤い羽根共同募金

今年もご協力お願いします

令和元年度目標額

2,737,000円

募金を集めるのにも理由があります。それが計画募金です。

全道の福祉の現場から“町を良くしたい”という願いがたくさん寄せられます。共同募金会は、その願いが実現できるように募金額などを計画してから、募金活動を始めます。

3～5月

助成計画と
目標を立てる



助成計画をたて、要望を実現するために必要な金額を「目標額」として決め、募金活動の準備に取りかかります。

10月1日

募金活動が
一斉にスタート



全国各地で10月1日から赤い羽根募金、12月1日から歳末たすけあい募金運動が始まります。

翌年度に
向けて

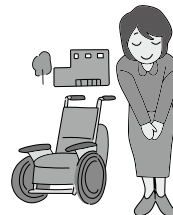
福祉団体から
申請を募集



社会福祉施設や団体、ボランティアなどから取り組んでいる福祉活動に必要な「資金ニーズ」を募集し、審議会により申請内容を調査、検討します。

翌年4月

集計後
募金は助成先へ



寄付金額を動かし、助成先と助成金額を決定します。4月に助成金が交付され、道内の福祉活動に使われます。

あなたの募金は、
福祉を元気づけています。

皆様からお寄せいただいた募金は、「余市町社会福祉協議会」を通じて様々な福祉活動に幅広く活用されています。

ありがとうメッセージ



公民館サークルおひろは 読書会かきかき会
(絵本読み聞かせの事業費)



余市町赤十字奉仕団
(災害対策研修の事業費、炊出し材料費)



余市町食生活改善推進委員会
(親子の食育料理教室事業他/食材費)



余市町地域子ども会育成連絡協議会
(ドッジボール大会事業費の一部)



余市町老人クラブ連合会/女性部
(施設訪問事業費の一部他)

仕事の発注は
ぜひ！
シルバー
人材センターへ
責任をもって
仕事をします

シルバー人材センターは

高齢者にふさわしい仕事を事業所・一般家庭・行政機関等から引き受け会員に提供します。



新会員
募集中！

●お申し込み・お問い合わせは● 余市町黒川町5丁目22番地

TEL. 22-7641 FAX. 22-7642

<http://www.yoichi-sc.or.jp/>

高齢者の知識・経験を生かして働ける

公益社団法人 余市町シルバー人材センター

募金は、
未来へつづく。

●赤い羽根共同募金結果報告

平成30年度 赤い羽根共同募金 結果報告

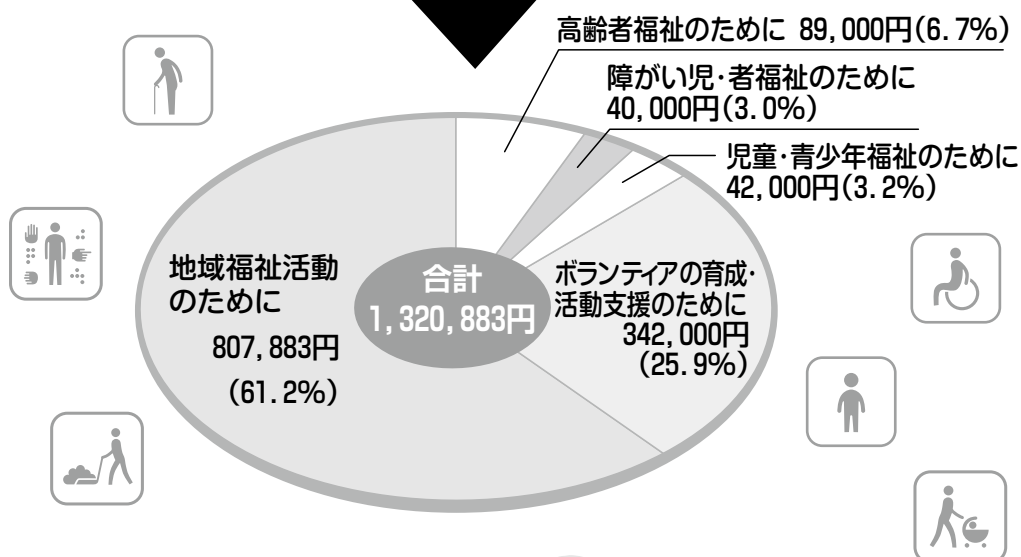
余市町共同募金委員会では、平成30年度皆様の温かいご支援とご協力により、区会・職域・団体・学校・個人等から、赤い羽根共同募金に**2,561,383円**の募金が寄せられました。

この募金をもとに、平成31年度「余市町社会福祉協議会」へ事業費として**1,320,883円**が助成され、様々な地域福祉活動推進のために有効に活用されています。

区 分	実績額
①戸別募金	2,210,534円
②法人募金	84,500円
③街頭募金	92,375円
④学校募金	59,370円
⑤そ の 他	114,604円
合計	2,561,383円

🌿 **ありがとうございました** 🌿

平成31年度余市町共同募金委員会より余市町社会福祉協議会に助成された1,320,883円は、次のとおり活用されます。



- 敬老標語募集事業
- 感謝のハガキ送付事業
- 高齢者福祉団体活動支援
- 障がい児・者福祉団体活動支援
- 児童・青少年福祉団体活動支援
- ボランティア団体活動支援
- ふれあいフォトコンテスト
- 子育てサポートセンター
- 育児・子育て相談
- 心配ごと相談、あんしん法律相談の開設
- 権利擁護活動の推進
- 低所得者、失業者等への生活支援の推進
- 暮らしの講座の開催
- 福祉講演会の開催
- ふまねっと運動教室の開催
- 広報啓発事業（社協だより等）ほか

平成30年度歳末たすけあい募金結果

【運動期間】12月1日▶12月31日

募金総額 **1,384,621円**

集められた募金は、一旦「北海道共同募金会」で集約され、翌年度、計画に基づき必要な金額を申請の上、余市町共同募金委員会へ助成されます。

- | | | |
|---------------------------------|---------------------|------------|
| の平成
助成
30
年度
内
訳 | ・歳末見舞金の贈呈 | 357,000円 |
| | ・地域福祉サービス基盤整備事業 | 148,894円 |
| | ・障害児養護世帯就学祝・贈呈事業 | 20,000円 |
| | ・社会福祉団体、NPO法人などへの支援 | 690,000円 |
| | ・歳末たすけあい運動にかかる経費 | 74,515円 |
| | 合 計 | 1,290,409円 |



おかげさまで70周年

**余市町共同
募金委員会**

余市町入舟町400番地

TEL **22-3156**

FAX **23-3664**



車椅子点検ボランティア活動に感謝！ 整備のプロがボランティア

7月25日、車椅子を安全に使用してもらおうと次の2団体が、地域社会への貢献活動の一環として平成22年から継続して行われ、今年で10回目となりました。

よいち社協へは町内の(株)プロファイル様(写真)からのお声かけにより、今回が初めての点検となりました。日頃、車の整備を主な仕事としているプロが集まり、自前の工具でタイヤの空気や溝の減り具合、ブレーキの効き具合など9項目について点検。不具合が見つかった場合は、応急処置が施され、点検済シールを貼り終了。

お陰様で、安心して車椅子の貸出しサービスを利用している方々へ提供できるようになりました。心より感謝致します。

●実施団体

一般社団法人 札幌地方自動車整備振興会小樽余市支部
一般社団法人 小樽自動車協会

●点検台数 車椅子11台

●実施日 7月25日(木)



点検済シール



災害発生時におけるボランティア活動に関する協定について

9月6日余市町と協定しました

災害が多発する昨今、全国から多くの災害ボランティアが被災地へ駆けつけ支援活動を行っており、災害ボランティア活動が重要な支援の中核を担うようになりました。このような中、多数の被災者を適切・効果的に支援するため、被災地内外の行政組織、社会福祉協議会、NPO・ボランティア等が、災害に対応する行政と協働して被災者支援にあたる流れが近年生まれています。

本町においても、かねてより余市町と防災に関する協議を重ねた結果、大規模災害発生時に町の要請を受け、本会に「災害ボランティアセンター」を設置するとともに、災害時におけるボランティア活動の協力体制などについて、互いに連携し関係機関・団体と情報共有を図るなど必要事項を定め、このたび協定を締結致しました。



余市町災害ボランティアセンター (余市町社会福祉協議会)

災害ボランティアセンターとは、被災地のいち早い復興を目指し、ボランティアによる支援が必要な被災者とボランティア活動をしたい人との橋渡しする拠点です。

余市町で災害ボランティアセンターの設置が決定された時は、災害対策本部等と連携を図った上で、余市町社会福祉協議会が協力者(地域住民の皆さんや町外の社会福祉協議会の職員など)と一緒に運営にあたることとなっています。

新規法人会員のご紹介

●糠塚水産株式会社(浜中町165番地)
代表取締役 糠塚 治様(8月27日加入)

社協の活動は皆様の「会費」によって支えられています。

社協の活動・事業に賛同し応援して下さいる方々に会員になって頂き、住みよいまちづくりの実現をめざして地域福祉活動を推進しています。

〈法人会員〉年額一口 1,000円 〈団体会員〉年額一口 500円

/福/祉/講/演/会/

●申込締切 10月15日(火)

認知症と ともに生きる

参加
無料



日時

10月19日(土)

13:30開会 (12:50より受付)

会場

余市町中央公民館

(余市町大川町4-143)

講師

(有)グッドライフ・代表取締役

宮崎 直人氏

『主な公職』 日本認知症ケア学会・代議員
一社)北海道認知症グループホーム協会・会長
北海道デイサービスセンター協議会・副会長
北海道介護予防・地域包括ケア市町村支援委員会・委員
北海道高齢者虐待防止推進委員会・委員ほか

この事業には、皆様からお寄せ頂いた社協会費をはじめ、善意のご寄付や共同募金・
歳末たすけあい募金の一部が配分されております。

2025年、認知症の方は現在の500万人から700万人に達すると推計されています。これは、65歳以上の5人に1人が認知症になるという計算です。超高齢社会、介護の担い手不足など、直面する課題が山積みされています。政・住民が一体となり、認知症の方と共に生きる地域づくりが求められています。本年度は、認知症の方への生活とケアがどうあるべきかを、第一線で活躍の専門家を招き、皆さまと一緒に理解を深めたいと思います。ぜひ多数のご参加を心よりお待ちしております。

【主催】 社会福祉法人余市町社会福祉協議会

【後援】 余市町／余市町老人クラブ連合会／余市町民生委員協議会／余市町区会連合会／余市町地域包括支援センター／余市町在宅介護支援センター／余市グループホーム連絡協議会／余市町認知症を支える家族の会／北海道新聞社余市支局

お申し
込み先

余市町社会福祉協議会 (余市町入舟町400番地) ☎ (0135) 22-3156 fax 23-3664

ホームページ <http://yoichi-shakyo.or.jp/>



●川柳・俳句・短歌集 記録研究／記念誌等
企画－印刷－製本－発行 あらゆる印刷の相談は…



〒046-0004 北海道余市町大川町14丁目14番地

株式会社 **おおはし**

●mail:oo84@cocoa.ocn.ne.jp

TEL(代)0135-23-4591 / FAX 0135-22-3600

2019

ふれあいフォトコンテスト 作品募集!

【応募締切】11/20(水) ※当日消印有効

今年は「ふれあい」をテーマに、家族への感謝や家族団らんのひととき、子育てを支え合う様子、高齢者の生き生きとした姿や生活の様子など、思い思いに「ふれあい」をイメージした写真を募集します。見る人の心に響くドラマチックな作品をお待ちしています。

【募集要項】

- ✦ テーマ / 「ふれあい」
- ✦ 被写体 / 家族、子供、高齢者 ※被写体となっている人に必ず応募の承諾を得てください。
- ✦ 作品規格 / 応募者本人が撮影（過去2年以内）した未発表の作品。
カラープリントでサイズは2L版(127mm×178mm)に限る。
- ✦ 応募資格 / 余市町在住又は在勤の18歳以上の方
- ✦ 応募先 / 〒046-0011 余市町入舟町400番地 余市町社会福祉協議会内
「ふれあいフォトコンテスト」係 ☎22-3156
- ✦ 入賞 / ふれあい大賞【最優秀賞】1名様：1万円商品券・記念品
ドラマチック賞【優秀賞】2名様：5千円商品券・記念品
審査員特別賞【入賞】2名様：3千円商品券・記念品
- ✦ 入選発表 / 12月をめどに審査し入賞者へ通知します。

※詳細については、町内公共施設に備え付けのチラシをご覧ください。

【主催】社会福祉法人余市町社会福祉協議会 【共催】子育てサポートセンター

ご寄付いただき ありがとうございました

令和元年7月～9月

皆様のご寄付は福祉のまちづくり推進のため、
有効に活用させていただきます。

- 安部 正昭 様（小樽市入船4丁目5-5） 30,000円
- ニッカウキスキー(株)北海道工場 様 150,000円
- ㈱北海道ニッカサービス 様 45,319円
(社会貢献活動の一環/エコマイレージ活動)

